



IIAE大気環境総合センター特別セミナー

「東京都心および富士山頂で測定した大気エアロゾル粒子の長期変動」

エアロゾル粒子は太陽放射を直接散乱、吸収することにより直接的に、雲凝結核になり雲の特性を変えることにより間接的に気候に影響する。これらの物理特性は粒径により異なる。東京理科大学のグループは1980年以降、都市、海洋、山岳大気エアロゾル粒子の粒径分布を測定してきた。1980年代は高濃度を記録していたが、21世紀に入り減少傾向が見られる。この減少傾向は粒径にかかわらず、地上付近、自由対流圏においても観測されている。粒子濃度は気体が粒子化する新粒子生成イベントにより急激に増加するが、イベントの頻度も減少傾向にある。さらに新粒子生成のうちどれだけが雲凝結核まで成長するか、吸湿特性について調査した。本セミナーではこれまでの観測結果に基づき、おもに粒径分布、新粒子生成、雲凝結核特性について紹介する。

主催：一般財団法人大気環境総合センター

共催：認定NPO法人富士山測候所を活用する会

日時：2023年6月16日（金） 13：30-15：30（13：00～受付開始）

場所：IIAEセミナールームとZOOMによるハイブリッド開催

プログラム（敬称略）：

13：30～13：35

開会ご挨拶 若松伸司（愛媛大学名誉教授、IIAE代表理事）

13：35～15：10

『東京都心および富士山頂で測定した大気エアロゾル粒子の長期変動』

三浦和彦（東京理科大学、認定NPO法人富士山測候所を活用する会理事長）

15：10～15：30 総合討論

このセミナーは、オンラインと対面でのハイブリッド開催になります。
予約申し込みの際、備考欄に現地またはオンライン参加のご希望を記載ください。

参加費：一般 3000円、セミナー会員 1000円、賛助会員 無料

要事前登録
6月15日（木）
締切

下記サイトから事前登録をお願いします。
登録された方には後日ZoomのURLをお知らせします。

https://iiae.or.jp/seminarlist/special_seminar/

問合せ：IIAE大気環境総合センター 事務局

TEL 03-6801-6082 Mail: info@iiae.or.jp

